

○システムを利用した理由

荷主	<ul style="list-style-type: none"> ・新機能に興味があったため ・動静確認のため ・搬出時間確認のため ・直送コンテナを指定した為、コンテナピックアップ、到着遅延が出ていないか確認 ・納入日前日ピックアップ済みかの確認
集荷	<ul style="list-style-type: none"> ・陸運のデータが反映されているのを確認するため ・元データ入力及び搬出時間確認のため ・コンテナ位置確認
陸運	<ul style="list-style-type: none"> ・入力作業負荷の確認 ・現地着確認 ・返却確認

○システムの活用方法

荷主	<ul style="list-style-type: none"> ・自社工場の場合、納入日前日ピックアップが基本のため、大きな意味でピックアップできていれば、細かい時間までは気にしない。逆に、量販店コンテナ直送(接車時間厳守)の場合は、活用できるのではと考える。 ・直送コンテナを指定した為、コンテナピックアップ、到着遅延が出ていないかの確認。 ・輸送状況のデータの蓄積によって次期サプライチェーンの計画値を精査可能となり、リードタイムや在庫の削減を検討できる。
集荷	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルの混雑状況の確認 ・配車混雑状況の確認 ・運送経路の把握 ・運送時間の確認 ・貨物動静情報の確認のためにこれまで電話による問い合わせをしていたが、システムで確認可能となった。
陸運	<ul style="list-style-type: none"> ・空コンテナの返却時もターミナルシステムとリンクしてほしい。

○システム利用の問題点

荷主	<ul style="list-style-type: none"> ・照会期間設定欄が一番下なのでわかりにくい。 ・リアルタイムに情報が入力されているものと入力されていないものがあるように思える。 ・別途メールにて集荷業者に状況を頂いているため、このトラッキングシステムはダブルチェックにすぎない。 ・トラブルがあれば、電話にて連絡を受けるため、今のところあまりメリットを感じない。 ・本格的な導入に際して、陸運・集荷業者による情報入力方法の簡便化の検討や、相手国との連携などグローバルな広がりが必要さが課題として挙げられる。 ・メール配信機能を追加するなど、ドライバーの入力情報をすぐに伝えることができる機能があれば、さらに使い勝手が良くなる。 ・陸上位置名称を集荷業者に入力してもらっているが、その情報が荷主のトラッキング画面では見えない。
集荷	<ul style="list-style-type: none"> ・SEA-NACCS (BL No.、コンテナ No.、デバン場所、搬出日、運送会社、空バン返却先、荷主コード (JAST PRO 仕様)) のデータを活用することは出来ないか。 ・返バン先は、搬出手続き後にわかる又はコンテナ搬出の際ゲートの指示によるので、ヤードで事前に入力できないか。 ・コンテナごとに荷主コード (必須)、運送担当 (必須)、地名 (任意) を1つ1つ手入力する必要があるため、項目を変更・追加する際の時間がかかりすぎる。 ・入力データがディスパッチオーダー (コンテナ No.、コンテナサイズ、BL No.、本船名、船社、voy No.、デバン場所、搬出日、空バン返却先、陸運業者、通関業者名) と重複しているため非効率である。 ・携帯電話での入力はドライバーの力量に左右される。 ・通常通り業務が進んでいる場合には、当システムを利用する意義は見いだせない。 ・トラッキングシステムを今後普及させるためには、位置情報と時間情報に関しては運送会社のシステムとリンクさせることが必要であると思われる。 ・遅延もしくは、当日走りの際にはシステムの有効性が発揮されるが、積置対応の貨物の場合では同システムの有効性を発揮できない。 ・システムが重い気がする。
陸運	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイムでの入力が難しい。 ・携帯電話での入力はドライバーの力量に左右される。 ・位置情報と時間情報を GPS 機能がついている自社システムとトラッキングシステムそれぞれに入力することになるため、システムがリンクしていると入力が1回で済み、利便性が上がる。 ・トラッキング画面で搬出可否がわかれば利便性が上がる。